

NEWS RELEASE

札幌大学の
今を発信！

表面から続く ウレシパクラブ、ノルウェーで Riddu Riddu Festivalに参加



「Riddu Riddu」に参加し、ウレシパクラブのアイヌ文化学習活動の成果を海外の舞台上で発表することにより、日本の先住民族としてのアイヌの存在およびその文化に対する国際的理解の深化を図ります。

また、各国の先住民族と交流を深めることや、現地のトロムソ博物館を訪問し、北方地域の先住民族サーミについて学び知見を深めることも目的とします。

なお、この研修に参加する18名の学生のうち、3名は国際先住民族フェスティバルから招聘されての参加となります。

- ◆研修期間：平成25年7月8日(月)～15日(月)
- ◆研修地：ノルウェー(マンダーレン、トロムソ)
7/8(月)～9(火) トロムソまで移動
7/10(水)～11(木) トロムソ博物館等見学
7/12(金)～13(土) マンダーレンへ移動
★Riddu Riddu Festival★
7/14(日)～15(月) 移動、帰国
- ◆問い合わせ
SUICC(札幌大学インターコミュニケーションセンター)
TEL:011-852-9138

札幌大学ウレシパクラブのこれまでの活動



◀ウレシパクラブの近隣小学校の訪問
ウレシパクラブの創立以来続けられています。アイヌ文化を通して小学生と交流するというもので、アイヌ文化を難しいものではなく、身近に感じてもらうということを目的に行っています。

ウレシパ・フェスタの様相▶
アイヌ文化を発信する場として「ウレシパ・フェスタ」を開催しています。民族研究者や作家などによる基調講演や、パネルトーク、アイヌ伝統文化の披露などを行っています。

◀テレビ番組でのアイヌの伝統楽器の紹介
NHK-BS1の「地球アゴラ」の収録が札幌大学で行われ、ウレシパクラブの学生も出演しました。アイヌの伝統的な楽器や歌、踊りも披露され大いに会場を沸かせました。



法学部が第2回市町村長リレー講座を開催します

札幌大学法学部では、6月27日(木)13時から、室蘭市の青山 剛市長をお迎えし、第2回北海道市町村長リレー講座を開催します。

同講座は、法学部専門科目「自治行政特講」「自治原論」の授業において、北海道内市町村の首長による講演を年6回開催します。

毎回、それぞれの自治体理念や実際の取り組みなどについて解説してもらうことで、「まちづくり」の現状と課題についての認識を深め、あわせて自治体職員や地域に根ざしたビジネスを目指す学生の職業選択のためのキャリアデザインに役立っています。平成18年から開催している本講座は今年で8年目を迎え、これまでに43回開催してきました。

今年度第2回は、講師に青山 剛室蘭市長をお迎えし「勝力ある室蘭への挑戦 ～ものづくりのまちの底力～」をテーマに、少子高齢社会の中、市民が安心して希望の持てるまちづくりに向けた政策課題の取り組みや、グローバル経済の中、室蘭がいかに貢献するかの視点で産学官民の取り組みについてお話しをいただきます。

一般の方々もご聴講できるように公開講座とします。受講料無料、事前申込は不要です。



主催：札幌大学法学部 協力：読売新聞社北海道支社 後援：北海道、北海道町村会、北海道市長会

●問い合わせ：札幌大学学生支援オフィス法学部 TEL:011-852-9128